

日野市教育委員会 様

学校名 日野市立七生緑小学校

校長名 折 茂 慎 一 郎

(公印省略)

令和8年度 教育課程について (届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援学級(知的障害)の教育課程を下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

日本国憲法、教育基本法の理念、東京都や日野市の基本構想・教育施策を礎とし、「多様な個性を認め合い、一人一人が主役となるみんなでつくる楽しい学校」を目指すため、以下のように目標を立てる。(◎：重点目標)

○やさしく (思いやり、助け合い、励まし合い)・・・本年度重点項目

◎かしこく (深く考える、判断する、解決する、“そうぞうする”、他者とつながる)

○たくましく (やる気、粘り強さ、健康な身体、柔軟な対応)

(2) 特別支援学級の教育目標

学校の教育目標とともに、学校教育法に基づく特別支援学級を編成する際のねらいを受けて、次のように具体的な目標を定める。

○(やさしく) 他者と協働的に関わることで仲間と協力する態度や表現力を身に付け、自立や社会参加に向けた豊かな人間性を育む。

◎(かしこく) 体験活動を通して、社会生活に必要な知識・技能・態度・習慣を身に付け、豊かな情操や“そうぞう”性を培う。

○(たくましく) 健康でたくましい体をつくり、心身の調和のとれた生活習慣の基盤を築く。

(3) 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

「第4次日野市学校教育基本構想」を具現化するための学校プロジェクト実現のために、特別支援教育の実態を考慮しながら地域社会の特色を最大限に生かした体験的な学びの充実を図るとともに、以下の取り組みを実施する。

ア「やさしく」(思いやり、助け合い、励まし合い)の実現のために

・日常的な交流及び共同学習の充実や地域との関わりを通じて、互いのよさを認め合いながら思いやりの心を育むための体験的で実感を伴った教育活動を実践する。

イ「かしこく」(深く考える、判断する、解決する、“そうぞうする”、他者とつながる)の実現のために

・心身の発達や障害特性に応じたかしのきシートの作成・活用を基に、自立活動と関連付けながら、体験を伴った主体的で課題解決学習を実践する。

ウ「たくましく」(やる気、粘り強さ、健康な身体、柔軟な対応)の実現のために

・障害特性に応じた健康や運動に関する課題を、遊びの要素を取り入れるなどした日常的な活動を通して自ら学び、運動の楽しさと課題解決の喜びを実感できることで充実した余暇活動への基盤を築く。

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動の指導の重点

ア 各教科

- ①個別指導と小集団指導及び全体指導を適切に取り入れ、体験を重視した多様な学習を展開する。また、かしのきシートを活用して個々の子供の実態を把握し、基礎的・基本的な学習内容の習得を図る。
- ②基礎的・基本的な学知識・理解を活用してこれからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるように、各教科において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。
- ③学習意欲を高めながら課題解決する力を育むために、学習用端末やICT機器、学校図書館を活用した個別学習及び協働学習を実施する。

イ 特別の教科 道徳

- ①道徳の重点項目を「いのち 尊重」「郷土愛」として指導を強化し、道徳的な判断力、心情理解、実践意欲と態度を育てる。道徳を要とする教育活動全体を通じて、道徳的価値の自覚及び自己の生き方について考えを深める発問展開を重視する。
- ②ロールプレイなど体験的な活動を取り入れ、善悪についての正しい価値判断と道徳的实践力を育成する。また、道徳授業地区公開講座を通して、家庭・地域社会と連携し、一貫性のある指導の充実を図る。

ウ 外国語活動

- ①英語を使った歌やゲームなど体を使って楽しめる活動を多く取り入れ、ALTを活用しながら積極的にコミュニケーションを図る態度を養う。また、異なる文化をもつ人々との交流活動を通して異文化への関心を高め、言語や習慣・文化に親しみをもたせる。

エ 総合的な学習の時間

- ①子供の興味・関心に基づく課題及び地域社会や学校の特色に応じた課題等、子供の実態に応じて課題設定を工夫し、自ら学ぶ態度を育てる。また、地域資材を生かした活動を充実させ、協働的な課題解決力と主体的に参画する資質を身に付けさせる。

オ 特別活動

- ①学校行事、学級活動、クラブ活動、委員会活動、通常の学級との交流及び共同学習等を通して、学校の中で様々な集団の一員としての自覚を高め、場に応じた行動の仕方を身に付けさせるとともに、人と関わることの楽しさを味わわせ、他者と協力する態度を育てる。
- ②学級会を充実させ、学級会の進め方を教師が例示したり補助したりするなどして、自己の思いや考えを言語化して伝える機会を意図的に設定するよう努める。

カ 自立活動

- ①かしのきシートに基づいた指導をもとに子供に必要な知識・技能・態度及び習慣を養うことで、心身の調和や安定を図り、社会参加の基盤を培う。
- ②生活場面での指導を通して生活の中での自己管理を図り、将来の自立に向けたスキルを身に付けさせる。また、SSTや話し合い活動を取り入れ、他者の意図や感情の理解を体験的に経験させ、状況に応じた言動や場面对応を身に付ける。
- ③言語聴覚士と連携した指導を通して、言語の受容と表出やコミュニケーション能力の向上を図る。

(2) 生活指導の重点

- ①個々の発達段階に応じた基本的な生活習慣を確立し、身辺処理や衛生管理、規範意識や節度のある生活態度などを養う。また、全ての「いのち」の価値を考え、安全教育(生命・生活・交通・災害)を推進する。
- ②学校いじめ防止基本方針を基に早期発見や未然防止に努め、いじめ対策委員会を活用した即時対応を図る。
- ③日常的なSOSの出し方に関する教育を強化する。子供が性暴力等の被害者にならないように、生命(いのち)の安全教育、見守り体制を強化し、関係機関との連携を図る。
- ④SCやSSWなどと密に連携し、子供の登校支援や保護者への支援を図り、学校や家庭生活における課題の早期解決に努める。

(3) 進路指導の重点

- ①特別支援教育の実態に考慮した地域社会との連携を強化し、「共に生きる力」の育成を図る。
- ②保護者や関係機関(医療機関など)、進学先学校と連携し、適正進学に向けた進路指導を行い、自立した社会生活を送ることができるキャリア教育に努める。

3 教育目標達成のための特色ある教育活動・その他の配慮事項等

- ①子供一人一人を大切にしたい親和性の高い温かい学級を目指し、校内研究として「特別活動」の学級会を充実させることで、学校が全ての子供にとって温かな居場所となるように努める。
- ②特別支援教育の充実を目指し、学校行事や教科等で通常の学級との交流及び共同学習だけでなく、地域との交流を積極的に行い、地域の方との交流を通して経験や視野を広げ、社会性を育てる。

様式2 (小学校)

学校名 小17 日野市立七生緑小学校 (特別支援学級)

4 授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	16	18	22	13	0	19	21	19	19	16	17	17	197
2	18	18	22	13	0	19	21	19	19	16	17	17	199
3	18	18	22	13	0	19	21	19	19	16	17	17	199
4	18	18	22	13	0	19	21	19	19	16	17	17	199
5	18	18	22	13	0	19	21	19	19	16	17	18	200
6	18	18	22	13	0	19	21	19	19	16	17	17	199
備考	※第1学年は、入学式が4月8日のため、2日減 ※第5、6学年は、卒業式に出席し、第6学年は修了式に出席しないため、第5学年のみ他学年より1日増。 ※振替なしの土曜授業0日。												

(2) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の年間授業時数配当表

① 各教科

教科名		学 年						
		1	2	3	4	5	6	
各教科	国 語	/	/	/	/	/	/	
	社 会							
	算 数							
	理 科							
	生 活							
	音 楽							
	図 画 工 作							
	家 庭							
	体 育							
	外 国 語							
知的障害者等 特別支援学校の 各教科 に対する	内 容	/						
	国語	文字の読み書き、漢字、文章表現力の向上、言葉のきまり、物語の理解等	235	245	245	245	245	245
	算数	数の計算、重さ・長さ・かさ・広さの理解と比較、図形、時計の読み等	135	140	140	175	175	175
	音楽	歌や楽器での表現、身体表現、リズム、合奏、鑑賞等	68	70	70	70	70	70
	図画工作	絵と工作、造形遊び、道具の扱い、鑑賞等	68	70	70	70	70	70
	体育	基本的な運動、道具を使った運動、水の中での運動等	96	100	100	100	100	100
小 計		602	625	625	660	660	660	

② 道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

内容・学年	内 容	1	2	3	4	5	6
特別の教科 道徳	・社会生活の中でのきまり、親切・思いやり、礼儀、公德心、生命尊重等	34	35	35	35	35	35
外国語活動	・身近な数や色、物の名前、挨拶等の英語、及び外国の文化等			15	15	15	15
総合的な学習の時間	・自然環境、キャリア教育、国際交流、ICT活用教育、地域の体験活動等			50	50	50	50
学級活動	・話し合い活動、集団遊びやお楽しみ会の準備と協力、係活動等	34	35	35	35	35	35
自立活動	・特設の時間は設定せず、身体機能や言語機能、対人関係の改善等において障害特性を配慮しながら随時、適切な形で行う。						
		68	70	135	135	135	135

③ 各教科等を合わせた指導

内容・学年	内 容	1	2	3	4	5	6
指導の形態							
日常生活の指導	・身辺整理、衣服の着脱、健康で清潔な身体、食事の大切さ等	65	60	30	30	20	20
遊びの指導	・遊具・道具の扱い方、ルール理解 ・習得、ゲーム、運動遊び等						
生活単元学習	・行事や学級の宿泊等に関連した学習、校外歩行、自然活動、栽培、調理、理科的社会的な活動、作業的な学習、異文化への理解(1・2年)等						
小 計		180	215	220	220	220	220

(3) 年間総授業時数

年間総授業時数 (①+②+③)		1	2	3	4	5	6
		850	910	980	1015	1015	1015
備 考	※クラブ活動は1回を60分とし、60分×11回÷45分≒14.7回となり、年間14回程度の実施。 ※授業時間は1単位時間45分とする。 ※スタートカリキュラムは特別支援学級の特性を生かして、生活単元学習として児童の実態に応じた単元設定を行い実施する。 ※火・水・木の朝を「なのはなタイム」とし、15分の短い時間を活用した運動や読書活動、栽培活動等の時間として扱う。1年100回、2・6年107回、3年110回、4・5年109回 ※学級行事は、1～3年：校外学習(行事2)、4～6年：宿泊学習(行事2)、多摩特研交流会(行事1)、合同学習発表会リハーサル(行事1)合同学習発表会(行事1)で扱う。 ※総合的な学習の時間は「七生緑タイム」とする。						